

教育委員会定例会議録

1 日 時

令和7年11月4日(火)
開会 9時30分
閉会 10時04分

2 場 所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席	福永和伸教育長、大森達也委員、富樫健二委員、安田悦子委員、横山史子委員
欠席	なし

4 事務局職員

副教育長 大屋慎一
次長(教職員担当) 福井崇司
次長(学校教育担当) 早田清宏
次長(育成支援・社会教育担当) 坂井哲
次長(研修担当) 小濱偉
教育総務課 課長 大坪恵子、班長兼企画員 立木雄真
教職員課 課長 中出真人、班長 山本エリ、主任 筒井雅斗、主幹 原健
生徒指導課 課長 向井英規、充指導主事 洲崎貴之
人権教育課 課長 山中秀人
研修推進課 課長補佐兼班長 前川ゆかり

5 請願・陳情の付議の結果

	件 名	審議結果
請願6	公立学校教員の研修に関する請願について	不採択

6 議案件名及び採択の結果

	件 名	審議結果
議案第26号	三重県教育職員特別免許状授与審査委員の任命について	原案可決

7 報告題件名

	件 名
報告 1	令和 6 年度児童生徒の暴力行為、いじめ、不登校等の調査結果について

8 審議の概要

・開会宣言

福永和伸教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

5名中 5名の出席により会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（10月23日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名者の指名

横山委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別

福永教育長が各委員に諮り、議案第26号は人事に関する案件であるため、非公開にて審議を行うこととした。

・審議事項	
請願 6	公立学校教員の研修に関する請願について（公開）
審議の概要	<ul style="list-style-type: none">人権教育課長及び研修推進課長補佐兼班長が公立学校教員の研修に関する請願について説明。教育長が各委員に諮り、不採択を承認した。
各委員から の主な質疑	質疑なし

・報告事項	
報告 1	令和 6 年度児童生徒の暴力行為、いじめ、不登校等の調査結果について（公開）
審議の概要	<ul style="list-style-type: none">生徒指導課長が令和 6 年度児童生徒の暴力行為、いじめ、不登校等の調査結果について報告。

	<p>・教育長が各委員に諮り、了承された。</p>
各委員からの主な質疑	<p>(大森委員) いわゆる暴力行為、いじめ、不登校、中途退学のそれぞれには因果関係はあるのか。今回の対応方針について、2025年度から新たに加えられたのはどれか。</p> <p>(生徒指導課長) 暴力行為、いじめ、不登校、中途退学のそれぞれ因果関係について、文科省の調査としては、暴力行為の中で、嫌な思いをした場合は暴力行為といじめをダブルでカウントすることもある。今回、小学校で暴力行為が減り、同時にいじめも減っているため、暴力行為が減ったのが、いじめが減ったことに関連していると思われる。</p> <p>(大森委員) それにより不登校も減っているのか。</p> <p>(生徒指導課長) 不登校数は増えおり、暴力行為、いじめがあって不登校になったという子が減っているのかどうかは把握していない。</p> <p>(教育長) 不登校の事由別調査にていじめが理由で不登校となった数はどうか。</p> <p>(生徒指導課長) 不登校の児童生徒やその保護者からどのような相談を受けたかという教員への調査の中で、「いじめの被害情報や相談があった」というのは、令和5年度は小中合わせて60件、令和6年度は63件であり、微増している。不登校の中で、いじめが影響とされているのはそれほど多くない。</p> <p>(大森委員) 相談件数が増えているのは変わってないのか。</p> <p>(生徒指導課長) そうである。それから2025年度から新たに取り組んでいるものについては、暴力行為、いじめのそれぞれの最後のポツの弁護士による「いじめの予防のための動画教材」がある。昨年度までは、弁護士によるいじめ予防授業を、実際に弁護士が現地の学校に行って授業をしていたが、どうしても物理的な制約があり、小学校の340校のうち昨年度は77校にしか受けなかった。そのため、昨年度末に弁護士による予防授業の動画教材を作り、すべての学校で実施できるように整備した。学校では、特別活動の時間にこれを活用することになっている。</p> <p>(教育長) 不登校については何かあるか。</p>

	<p>(生徒指導課長)</p> <p>6ページの2つ目のポツ、教育支援センターの設置を国の事業を活用して各市町に推進している。また、4つ目のポツ、学びの多様化学校が各市町で設置が進むよう、県立みえ四葉ヶ咲中学校でのノウハウを周知することに取り組んでいる。</p> <p>(大森委員)</p> <p>中途退学は何かないのか。</p> <p>(生徒指導課長)</p> <p>特にない。</p> <p>(富樫委員)</p> <p>アンケートについて、基本的には紙ベースではなく、校務支援システム等の特別なアンケートシステム、G I G Aスクールのタブレット使用を行っているのか。</p> <p>(生徒指導課長)</p> <p>各学校で、紙やタブレット等さまざまであるが、紙で行っている学校も多い。無記名でアンケートをとった時に、担任の先生は無記名でも字を見たら誰かわかり、被害を訴えている子にこちらから持ちかけたりするため、そういう意味で紙にて行っている学校もまだ多い。タブレットは、定期的なアンケートとは別に、いつでも担任の先生等に相談ができるようなシステムを入れている。</p> <p>(富樫委員)</p> <p>いじめアンケートは学期に1回以上と記載があるが、もっと短く子どもたちの心の動きを把握した方が認知や早期対応ができるのではないかと考える。どのくらい取り入れられているのか。</p> <p>(生徒指導課長)</p> <p>例えば、心の天気をデータ化し、雨が続くと、データを見ている養護教諭の先生が声をかける等の取組はしている。</p> <p>(教育長)</p> <p>県立学校もさまざまか。</p> <p>(生徒指導課長)</p> <p>県立学校も、アプリを使用している学校もあれば、チャットのようなもので、担任の先生等に直接相談できるようなことをしている学校もある。しかし、やはり担任の先生が朝やホームルーム等で、子どもたちの顔を見て気が付くことが多い。</p>
--	---

・審議事項

議案第26号

三重県教育職員特別免許状授与審査委員の任命について（非公開）

- ・非公開により審議されたため、三重県教育委員会会議規則第十三条二項の規定により会議録は別途作成

- ・閉会宣言